

# 人権教育振興事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/生涯学習・スポーツ課

/生涯学習係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3211,6112,6113,6122

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

人権教育及び人権啓発の推進に関する法律  
 朝霞市人権教育講師派遣要綱

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

人権に関する研修会を通じて、市民が人権問題について学び、人権尊重の意識が高揚している。

### 事業内容【継続】

- ・人権問題講演会、市民人権教育研修会、企業人権教育研修会、公民館人権教育講座、講師派遣事業等の実施や啓発冊子の発行等により、人権教育の推進・啓発活動を行う。
- ・人権教育推進協議会への補助を通じて、人権教育の推進・啓発を図る。

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

#### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

人権問題講演会、公民館人権教育講座及び市民人権・企業人権教育研修会の実施。  
 朝霞市人権教育推進協議会との共催による現地研修会（フィールドワーク）の実施。  
 成人式及び各種人権教育研修会における人権啓発品及び啓発冊子の配布。  
 朝霞市人権教育推進協議会への補助金の交付(135,000円)。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 各種研修会・講座開催回数	回	10 ( 1 )	10 ( 3 )	10 ( 5 )	10 R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 各種研修会・講座参加者数	人	630 ( 50 )	630 ( 188 )	630 ( 348 )	630 R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	688	451	888	千円
人件費	4,266	6,436	5,911	千円
総計	4,954	6,887	6,799	千円

【財源内訳】一般財源 788千円 県支出金 100千円  
 【執行内訳】報償費 95千円、旅費 27千円、需用費 219千円、委託料 166千円、使用料及び賃借料 55千円 備品購入費 83千円 負担金、補助及び交付金 243千円  
 合計888千円

## 3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

### 総合判定

拡充  継続  縮小  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

### 【今後の取組等】

令和4年度は、朝霞市人権教育推進協議会と協働で、多様な人権課題の中から偏ることなく今日的な課題をテーマとして取り上げ、人権問題講演会や市民向け、企業向けの人権研修会を実施することができた。今後も、実施手法等を研究し、できるだけ多くの市民が人権に対する関心を持ち、正しい知識を得られるよう人権教育の推進に努める。

# 成人式事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/生涯学習・スポーツ課

/生涯学習係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3211,2242

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

朝霞市成人式開催要領

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

新成人が成人式に参加し、社会人としての自覚を持って生活に臨んでいる。

### 事業内容 【継続】

成人の日に「朝霞市成人式」を挙行する。

### 実施状況

計画以上に実施できた
  おおむね計画どおりに実施できた
  計画どおりに実施できなかった

#### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

式典の開催を2部制による実施とし、入場時の手指消毒及びマスク着用の徹底等、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上で、成人の日に市民会館大ホールにて、新成人の協力を得て、朝霞市成人の日記念式典を開催した。また、3年ぶりに東洋大学管弦楽団の協力を得て、生演奏とともに式典の運営を行った。

		指標名	単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	①	成人式参加率	%	67.0 ( 61.8 )	67.0 ( 64.8 )	67.0 ( 65.6 )	R 7 年度
	②			( )	( )	( )	R 年度
成果	①	成人式満足度	%	75.0 ( 77.7 )	75.0 ( 89.5 )	70.0 ( 88.9 )	R 7 年度
	②			( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	1,426	1,431	1,553	千円
人件費	10,084	5,679	9,975	千円
総計	11,510	7,110	11,528	千円

【財源内訳】一般財源 1,553千円  
 【執行内訳】報償費 745千円 需用費 271千円 役務費 176千円 委託料 361千円  
 合計 1,553千円

## 3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

### 総合判定

拡充
  継続
  縮小
  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

### 【今後の取組等】

今後はコロナ禍の状況も改善してくることが見込まれるため、式典時間や2部制による開催等の実施方法についても、コロナ禍以前の状態に可能な限り戻していくことを検討する。また、記念誌編集委員会議の中で、新成人の意見などを参考にし、多くの新成人が参加して良かったと思える式典の開催、運営に努めていく。

# 生涯学習啓発推進事業

部名/課名/係名 生涯学習部 / 生涯学習・スポーツ課 / 生涯学習係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3211,3212,3213

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

朝霞市市民企画講座事業補助金交付要綱 朝霞市生涯学習ボランティア活用推進事業補助金交付要綱 子ども大学あさか実行委員会設置要綱 子ども大学あさか事業補助金交付要綱 社会教育法 朝霞市社会教育委員設置条例 朝霞市生涯学習推進会議設置要綱 など

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

学習機会を提供することにより、市民及び市民活動団体が、積極的に生涯学習に取り組んでいる。また、学びを習得した市民が他の市民へと学びを繋げる「知の循環型社会」を形成していく。

### 事業内容【継続】

・生涯学習ガイドブック「コンパス」の発行等、生涯学習情報を提供する。・学習講座を企画、実施する団体に補助金を交付し活動を支援する。・社会教育委員会議、生涯学習推進会議等を開催するとともに、朝霞市生涯学習計画の進捗管理を行い、生涯学習の推進を図る。・生涯学習体験教室、市民企画講座、あさか学習おとどけ講座、子ども大学あさか等各種事業を実施する。

### 実施状況

○ 計画以上に実施できた ● おおむね計画どおりに実施できた ○ 計画どおりに実施できなかった

#### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

あさか学習おとどけ講座の実施/生涯学習ガイドブック「コンパス」の作成/生涯学習情報の提供/補助金交付等、市民の自主的な学習支援/社会教育委員会議の開催/ボランティアバンク制度の活用による市民や団体の知識・技能の還元/生涯学習計画実施計画の進捗管理/子ども大学あさかの実施

指標名		単位	R2年度目標(実績)	R3年度目標(実績)	R4年度目標(見込み)	最終目標(目標年度)
活動	① 体験教室の実施講座回数	回	55 (29)	55 (32)	55 (37)	55 R 7 年度
	② 市民企画講座補助金交付団体数	団体	10 (8)	10 (5)	10 (8)	10 R 7 年度
成果	① 体験教室の延べ参加人数	人	670 (448)	670 (462)	670 (510)	670 R 7 年度
	② 市民企画講座延べ参加者数	人	930 (527)	930 (385)	930 (543)	930 R 7 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	8,406	8,823	9,303	千円
人件費	8,921	10,979	6,281	千円
総計	17,327	19,802	15,584	千円

【財源内訳】一般財源 9,263千円 その他(広告事業収入) 40千円  
 【執行内訳】報酬 5,878千円 職員手当等 1,113千円 報償費 10千円 旅費 88千円 需用費 1,138千円 役務費 23千円 使用料及び賃借料 13千円 負担金、補助金及び交付金 1,040千円  
 合計 9,303千円

## 3 今後の方向性 (必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定 ○ 拡充 ● 継続 ○ 縮小 ○ 休止・廃止

- 見直しの余地
- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

### 【今後の取組等】

市民のニーズ把握に努め、社会状況の変化などを考慮しながら、今後もさらなる生涯学習の推進が図られるように事業を展開していく。また、業務プロセスについては、事業の多くが市民や市民団体との協働で進められているため、事業の内容を詰めていく段階で市民や市民団体との協議を行い、持続可能な各事業のシステムの構築に向けて、見直しを進めていきたい。

# 放課後子ども教室事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 生涯学習・スポーツ課

/ 生涯学習係

## 1 基本分類

総合計画コード

3212,2213,3141

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

主な根拠法令等

埼玉県放課後子供教室推進事業等実施要綱  
 埼玉県放課後子供教室推進事業等補助金交付要綱  
 朝霞市放課後子ども教室推進事業実施要綱

## 2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

小学生を対象に教室ごとに各メニューを実施することで、多くの小学生の居場所が確保できた。

事業内容【拡充】

小学校を会場に放課後子ども教室を実施する。

実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

実施校:朝霞第一、第三、第四、第五、第七、第十小学校(市内全児童対象)  
 期間:【夏季】令和4年7月・8月 各校3回実施 【秋季】令和4年9月～令和5年2月 各校12回実施  
 種目:【夏季】3日のうち1日はプログラム(科学教室(一小)、切り絵教室(三小)、工作教室(四小)、工作教室(五小)、科学教室(七小)、工作教室(十小))、2日は夏休みの宿題  
 【秋季】バンスボール(一小)、科学あそび(三小)、おもしろ工作(四小)、スポーツパーク(五小)、人形劇(七小)、書道(十小)  
 参加者:延べ1,233人※夏休み参加者を含む

指標名		単位	R2年度目標(実績)	R3年度目標(実績)	R4年度目標(見込み)	最終目標(目標年度)
活動	① 放課後子ども教室実施学校数	校	6 (6)	6 (6)	7 (6)	7 R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 教室の延べ参加人数	人	1,550 (779)	1,550 (844)	1,550 (1,233)	1,550 R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	1,985	1,843	2,155	千円
人件費	7,757	6,436	9,975	千円
総計	9,742	8,279	12,130	千円

【財源内訳】一般財源 1,099千円 県支出金 1,003千円 その他(参加者負担金)53千円  
 【執行内訳】報償費 1,457千円 需用費 299千円 役員費 105千円 委託料 294千円  
 合計 2,155千円

## 3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

拡充  継続  縮小  休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

【今後の取組等】

令和4年度は、市内6校で土曜日の午前中に実施しているプログラム提供型の放課後子ども教室に加えて、小学校の夏季休業期間中に居場所提供型事業として放課後子ども教室を各校3日間実施したが、令和5年度は2日増やし各5日間で実施する。実施の内容については、今後、「朝霞市放課後子ども教室実行委員会」で検討する。今後も地域の方々の参画を得て、勉強やスポーツ・文化活動などの取組を実施し、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。



# 西朝霞公民館運営事業

部名/課名/係名 生涯学習部 / 中央公民館 / 西朝霞公民館

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3221

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

社会教育法 朝霞市公民館設置及び管理条例  
 同条例施行規則 朝霞市公民館運営要綱

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

地域における学びの場として、実際の生活に即した各種事業や図書確保を行うとともに、利用者が相互の理解を深めることができるように公民館運営を行うことにより、市民は教養や健康の維持向上を図る機会を享受し、豊かな生活を営んでいる。

### 事業内容【継続】

窓口(電話対応)業務、備品の維持管理、チラシ・冊子・広報紙等の掲示・管理に関する業務、各種講座開催、施設(部屋)の貸し出し・維持管理、公民館まつりの開催、図書の貸し出し・返却に関する業務

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

- ・各種講座等の開催(成人教養講座・さわやか健康教室・伝統文化講座等) 参加者:延べ1,200人
- ・施設の貸出し 利用人数:30,000人、利用率:55.1%
- ・図書貸出冊数 14,300冊

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 登録団体数	件	110 ( 103 )	110 ( 109 )	110 ( 115 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 利用人数	人	40,000 ( 19,972 )	40,000 ( 29,838 )	40,000 ( 30,000 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	6,331	7,227	7,236	千円
人件費	12,441	12,441	6,281	千円
総計	18,772	19,668	13,517	千円

【財源内訳】一般財源7,236千円  
 【執行内訳】報酬5,197千円、職員手当等1,023千円、報償費100千円、旅費13千円、需用費494千円、役務費215千円、使用料及び賃借料194千円

## 3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定  拡充  継続  縮小  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
- 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
- サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
- 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
- 受益者負担のあり方について見直す余地がある
- その他 ( )

### 【今後の取組等】

地域における学びの場として、日常生活に即した各種講座の実施や必要な図書の確保を行うとともに、教養や健康等の維持向上を図る場としての公民館運営をさらに検討し、利用者が安心して利用できるよう努めていく。

# 中央公民館運営事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 中央公民館

/ 事業係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3221

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

社会教育法 朝霞市公民館設置及び管理条例 同条例施行規則 朝霞市公民館運営要綱

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

地域における学びの場として、実際の生活に即した各種事業や必要な図書確保を行うとともに、利用者が相互のコミュニケーションを深めることができるように公民館運営を行うことにより、市民は教養や健康の維持向上を図る機会を享受し、豊かな社会生活を営んでいる。

### 事業内容【継続】

窓口(電話対応)業務、備品の維持管理、チラシ・冊子・広報紙等の掲示・管理に関する業務  
 各種講座開催・施設(部屋)の貸し出し・維持管理  
 公民館まつり(サマーフェスティバル)の開催  
 公民館運営審議会等に関する事務  
 プラネタリウム事業の企画・運営

### 実施状況

○ 計画以上に実施できた ● おおむね計画どおりに実施できた ○ 計画どおりに実施できなかった

### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

・各種講座等の開催(悠ゆう大学、さわやか健康教室、成人教養講座、こども天体教室、サイエンスキッズ、人権教育講座)  
 参加者:延べ 314人

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 登録団体数	件	290 ( 293 )	280 ( 278 )	290 ( 279 )	R 7 年度
	② プラネタリウム年間投映回数	回	215 ( 106 )	215 ( 145 )	215 ( 163 )	R 7 年度
成果	① 利用人数	人	110,000 ( 51,290 )	110,000 ( 57,680 )	110,000 ( 100,000 )	R 7 年度
	② プラネタリウム観覧者数	人	5,000 ( 2,422 )	5,000 ( 4,077 )	5,000 ( 4,760 )	R 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	8,063	8,119	8,539	千円
人件費	21,332	25,366	14,778	千円
総計	29,395	33,485	23,317	千円

【財源内訳】一般財源8,539千円  
 【執行内訳】報酬2,820千円、職員手当等480千円、報償費230千円、旅費68千円、需用費1,429千円、役務費500千円、委託料2,313千円、使用料及び賃借料635千円、備品購入費63千円、償還金、利子及び割引料1千円

## 3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

### 総合判定

○ 拡充 ● 継続 ○ 縮小 ○ 休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

### 【今後の取組等】

昨年度よりも利用者数は増加しているものの、コロナ前の水準と比較すると利用者数や利用率は減少している。コロナ禍での、公民館運営をさらに検討し、公民館利用者が安心して利用できるよう努めていく。

# 東朝霞公民館運営事業

部名/課名/係名 生涯学習部 / 中央公民館 / 東朝霞公民館

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3221

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業
- 委託等
- 連携・協働
- 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務
- 義務と任意
- 任意

### 主な根拠法令等

社会教育法 朝霞市公民館設置及び管理条例  
同条例施行規則 朝霞市公民館運営要綱

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

地域における学びの場として、実際の生活に即した各種事業や必要な図書確保を行うとともに、利用者が相互の理解を深めることができるように公民館運営を行うことにより、市民は教養や健康の維持向上を図る機会を享受し、豊かな生活を営んでいる。

### 事業内容【継続】

窓口業務、備品の維持管理、チラシ・冊子・広報紙等の掲示・管理に関する事務  
各種講座開催  
施設(部屋)の貸出・維持管理  
公民館まつりの開催  
図書の貸出・返却に関する業務

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

- ・各種講座等の開催(生活教養講座・子どもふれあい広場) 参加者: 延べ247人
- ・施設の貸出し 利用人数: 40,000人、利用率: 68%
- ・図書貸出冊数 30,000冊

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 登録団体数	件	130 ( 131 )	140 ( 127 )	140 ( 127 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 利用人数	人	49,000 ( 30,580 )	49,000 ( 40,474 )	49,000 ( 40,000 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	6,589	7,242	7,498	千円
人件費	11,248	6,815	6,650	千円
総計	17,837	14,057	14,148	千円

【財源内訳】一般財源7,498千円  
【執行内訳】報酬5,197千円、職員手当等1,023千円、報償費100千円、旅費49千円、需用費467千円、役員費235千円、使用料及び賃借料427千円

## 3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

### 総合判定

拡充  継続  縮小  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
- 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
- サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
- 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
- 受益者負担のあり方について見直す余地がある
- その他 ( )

### 【今後の取組等】

利用者数は昨年度と同程度であるが、コロナ前の水準と比較すると減少している。今後は、公民館運営をさらに検討し、公民館利用者が安心して利用できるよう努めていく。

# 内間木公民館運営事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 中央公民館

/ 内間木公民館

## 1 基本分類

総合計画コード

3221

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

主な根拠法令等

社会教育法 朝霞市公民館設置及び管理条例  
 同条例施行規則 朝霞市公民館運営要綱

## 2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

地域における学びの場として、実際の生活に即した各種事業や必要な図書確保を行うとともに、利用者が相互の理解を深めることができるように公民館運営を行うことにより、市民は教養や健康の維持向上を図る機会を享受し、豊かな社会生活を営んでいる。

事業内容 【継続】

窓口(電話対応)業務、備品の維持管理、チラシ・冊子、広報紙等の掲示・管理に関する業務  
 各種講座開催  
 施設(部屋)の貸出し・維持管理  
 公民館まつりの開催  
 図書の貸出し・返却に関する業務

実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

・各種講座等の開催(生活教養講座、さわやか健康教室、子どもランド、映画会) 参加者:延べ119人  
 ・第40回内間木公民館まつり 参加団体:20団体 参加者:延べ1,000人  
 ・施設の貸出 利用人数:18,800人、利用率55.8% 図書貸出冊数:3,700冊  
 ・空調設備改修工事に伴う約3カ月半の休館により、施設の利用者数、図書の貸出数が前年度実績を下回った。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 登録団体数	件	78 ( 78 )	78 ( 76 )	78 ( 83 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 利用人数	人	33,000 ( 21,347 )	33,000 ( 25,651 )	33,000 ( 18,800 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	6,646	6,845	7,451	千円
人件費	6,206	6,436	5,542	千円
総計	12,852	13,281	12,993	千円

【財源内訳】一般財源 7,451千円  
 【執行内訳】報酬 5,197千円 職員手当 1,023千円  
 報償費 100千円 旅費 79千円  
 需用費 464千円 役務費 251千円  
 使用料及び賃借料 337千円

## 3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

拡充  継続  縮小  休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

【今後の取組等】

感染症対策を講じたうえで、地域の生涯学習活動の拠点として魅力ある講座や公民館まつりを実施していく。また、利用団体の高齢化・少人数化が顕著であるため、施設管理と併せ利用しやすい公民館になるよう運営していく。



# 南朝霞公民館運営事業

部名/課名/係名 生涯学習部 / 中央公民館 / 南朝霞公民館

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3221

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

社会教育法 朝霞市公民館設置及び管理条例  
 同条例施行規則 朝霞市公民館運営要綱

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

地域における学びの場として、実際の生活に即した各種事業や必要な図書確保を行うとともに、利用者が相互の理解を深めることができるように公民館運営を行うことにより、市民は教養や健康の維持向上を図る機会を享受し、豊かな社会生活を営んでいる。

### 事業内容【継続】

窓口(電話対応)業務、備品の維持管理、チラシ・冊子・広報等の掲示・管理に関する業務  
 各種講座開催  
 施設(部屋)の貸出し、維持管理  
 公民館まつりの開催  
 図書の貸出し・返却に関する業務

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

- ・講座等の開催(南っ子クラブ、生活教養講座、さわやか健康教室、映画会) 参加者:延べ197人
- ・第35回南朝霞公民館まつり 参加団体:延べ18団体 参加者:延べ1,005人
- ・施設の貸出し 利用人数:27,000人、利用率:56.0% ・図書貸出冊数 12,000冊

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 登録団体数	件	120 (108)	120 (107)	120 (100)	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 利用人数	人	42,000 (10,283)	42,000 (26,978)	42,000 (27,000)	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	6,777	7,214	7,282	千円
人件費	4,266	3,786	4,433	千円
総計	11,043	11,000	11,715	千円

【財源内訳】一般財源 7,282千円  
 【執行内訳】報酬 5,197千円  
 職員手当 1,023千円  
 報償費 100千円  
 需用費 440千円  
 役務費 216千円  
 使用料及び賃借料 306千円

## 3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

### 総合判定

拡充  継続  縮小  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
- 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
- サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
- 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
- 受益者負担のあり方について見直す余地がある
- その他 ( )

### 【今後の取組等】

昨年度よりも利用者数は増加しているものの、コロナ前の水準と比較すると利用者数や利用率は減少している。サークル活動に繋がる事業展開を検討するとともに、公民館利用者が安心して利用できるよう努めていく。

# 北朝霞公民館運営事業

部名/課名/係名 生涯学習部 / 中央公民館 / 北朝霞公民館

## 1 基本分類

総合計画コード

3221

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

主な根拠法令等

社会教育法 朝霞市公民館設置及び管理条例  
 同条例施行規則 朝霞市公民館運営要綱

## 2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

地域における学びの場として、実際の生活に即した各種事業や必要な図書の確保を行うとともに、利用者が相互の理解を深めることができるように公民館運営を行うことにより、市民は教養や健康の維持向上を図る機会を享受し、豊かな社会生活を営んでいる。

事業内容 【継続】

窓口(電話対応)業務、備品の維持管理、チラシ・冊子・広報紙等の掲示・管理に関する業務  
 各種講座開催  
 施設(部屋)の貸出・維持管理  
 公民館まつりの開催  
 図書の貸出・返却に関する業務

実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

・各種講座等の開催(教養講座、子育て講座、さわやか健康教室、映画会、わんぱくキッズランド)参加者:延べ251人  
 ・施設の貸出 利用人数:20,931人、利用率:43.7%  
 ・図書貸出数 29,279冊

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 登録団体数	件	110 ( 91 )	110 ( 85 )	110 ( 70 )	R 8 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 利用人数	人	35,000 ( 20,365 )	35,000 ( 22,686 )	35,000 ( 24,200 )	35,000 R 8 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	7,375	7,838	8,007	千円
人件費	10,860	10,601	9,236	千円
総計	18,235	18,439	17,243	千円

【財源内訳】一般財源 8,007千円  
 【執行内訳】報酬 5,791千円、使用料及び賃借料 220千円、職員手当等 1,023千円、旅費 15千円、報償費 100千円、需用費 583千円、役務費 275千円

## 3 今後の方向性 (必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定  拡充  継続  縮小  休止・廃止

- 見直しの余地
- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
  - 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
  - サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
  - 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
  - 受益者負担のあり方について見直す余地がある
  - その他 ( )

【今後の取組等】

新型コロナウイルスの感染状況に留意しつつ、感染対策を継続して行い講座等の事業を実施していく。利用団体の高齢化・少人数化が進んでいる傾向が顕著で、利用団体・利用人数が減少しているため、地域の学習活動の拠点としての魅力ある公民館の情報を発信していく。

# 図書館運営事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 図書館

/ 図書館サービス係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3221

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

図書館法 朝霞市立図書館条例 朝霞市立図書館管理規則 朝霞市立図書館資料収集方針 朝霞市立図書館資料除籍基準 朝霞市立図書館対面朗読サービス実施要領 朝霞市立図書館宅配貸出事務処理要領 朝霞市立図書館郵送貸出サービス実施要領

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

図書館資料の整備充実を図ることで、市民は館内資料により、必要な情報を的確に入手することができる。

### 事業内容【継続】

図書館資料の収集、保存、除籍、資料整理等の実施管理  
 閲覧、貸出、予約、レファレンス等の利用者サービスの実施  
 児童、青少年、成人、障害者等の利用者対象事業の実施  
 図書館システムの管理、統計の作成等  
 図書館協議会、子ども読書活動推進連絡会の開催

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

図書館資料の収集、分類、整理、保存、提供、レファレンス、資料の選定と適切な廃棄、関連イベントの企画・実施を行い、図書館資料と利用者をつなぎ、図書館利用の促進、障害者サービス等の実施、図書館協議会の開催、図書館システムの管理・統計等の作成、図書館サービス基本計画・子ども読書活動推進計画の推進を行った。また、令和4年3月から導入した電子図書の実施を図った。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 開館日数	日	326 ( 280 )	326 ( 290 )	326 ( 324 )	R 7 年度
	② 新刊書の選書回数	回	50 ( 50 )	50 ( 50 )	50 ( 50 )	R 7 年度
成果	① 利用者満足度	%	80 ( 83.9 )	80 ( 93.7 )	80 ( 84 )	R 7 年度
	② 実質登録率	%	20 ( 13.2 )	20 ( 13.9 )	20 ( 14.7 )	R 7 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	72,800	82,377	77,902	千円
人件費	59,729	59,819	70,565	千円
総計	132,529	142,196	148,467	千円

【財源内訳】一般財源77,902千円  
 【執行内訳】報酬27,804千円、職員手当等4,303千円、報償費304千円、旅費976千円、需用費7,917千円、役務費2,158千円、委託料3,384千円、使用料及び賃借料15,627千円、備品購入費15,376千円、負担金、補助及び交付金53千円

## 3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

### 総合判定

拡充  継続  縮小  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

### 【今後の取組等】

資料収集方針に基づき、限りある予算を最大限に生かし、資料の収集、保存に努め、相互貸借制度など県立や他市町村の図書館との協力も図りながら、利用者に適切な資料提供を行っていく。また、フェーズに応じた新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとりつつ、各種事業の企画、実施を進め、図書館資料と利用者をつなぎ、図書館利用の向上に努め、令和3年度から導入した電子図書館サービスの充実を図っていく。

# 図書館北朝霞分館運営事業

部名/課名/係名 生涯学習部 / 図書館 / 北朝霞分館

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3221

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業
- 委託等
- 連携・協働
- 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務
- 義務と任意
- 任意

### 主な根拠法令等

図書館法 朝霞市立図書館条例 朝霞市立図書館管理規則 朝霞市立図書館資料収集方針 朝霞市立図書館資料除籍基準 図書館ビジネス支援サービス事業実施要綱

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

図書館資料の整備充実を図ることで、市民は館内資料により、必要な情報を的確に入手することができる。

### 事業内容【継続】

図書館資料の収集、保存、除籍、資料整理等の実施  
 閲覧、貸出、予約、レファレンス等の利用者サービスの実施  
 ビジネス支援サービスの実施  
 自主事業の実施(えんじょいきっず、絵本のよみきかせ、映画会)

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策(滞在時間の制限等)を継続する中で、臨時のシステム点検を除き、計画通りに開館することができた。また、えんじょいきっずや絵本のよみきかせ、映画会などの自主事業も計画どおり実施することができた。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 開館日数	日	327 ( 280 )	328 ( 318 )	326 ( 325 )	R 7 年度
	② 新刊書の選書回数	回	50 ( 50 )	50 ( 50 )	50 ( 50 )	R 7 年度
成果	① 利用者満足度	%	80 ( 83.9 )	80 ( 93.7 )	80 ( 84 )	R 7 年度
	② 実質登録率	%	20 ( 13.2 )	20 ( 13.9 )	20 ( 14.7 )	R 7 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	27,797	28,720	28,395	千円
人件費	39,949	38,996	38,423	千円
総計	67,746	67,716	66,818	千円

【財源内訳】一般財源28,395千円  
 【執行内訳】報酬14,727千円、職員手当等2,900千円、旅費207千円、需用費2,102千円、役務費281千円、委託料152千円、使用料及び賃借料458千円、備品購入費7,568千円

## 3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

### 総合判定

拡充  継続  縮小  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
- 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
- サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
- 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
- 受益者負担のあり方について見直す余地がある
- その他 ( )

### 【今後の取組等】

図書や視聴覚資料、さらに雑誌・新聞を収集・保存し、市民に提供するという図書館の基本的な役割を今後も継続する。さらに利用者リクエストへの対応や蔵書の充実など、引き続き図書館サービスの基本を忠実に実施していく。



# 博物館運営事業

部名/課名/係名 生涯学習部 / 文化財課 / 博物館

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3221,3412,3413

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

博物館法 朝霞市博物館条例

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

郷土の歴史を語る様々な資料を調査・収集・保存し、展示や教育普及事業において活用を図ること  
で地域の歴史や文化への理解と認識を深め、生涯学習の場として、いつでも誰もが学べる学習機  
会が市民に提供されている。

### 事業内容【継続】

展示:常設展示、企画展示、テーマ展示、ギャラリー展示  
 教育普及:聴講型・体験型講座、博学連携事業、博物館学芸員実習受入  
 資料調査:古文書調査、収蔵資料調査、自然資料調査、歴史的公文書調査  
 資料保存:特別収蔵庫及び一般収蔵庫密閉くん蒸、保存環境調査、資料修復、資料購入、図書購入  
 博物館運営:博物館協議会、公用車管理、各種機器借上、設備管理、博物館関係団体加入

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

#### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながらの事業実施ではあったが、丸沼芸術の森所蔵の  
アンドリュー・ワイエスの作品の公開や、企画展の実施、博学連携事業などの実施方法や内容の  
工夫により、活動目標を達成することができた。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 企画展示等開催回数	回	6 (6)	6 (7)	6 (7)	6 R 7 年度
	② 資料調査件数	件	0 (1)	随時 (1)	随時 (1)	随時 R 7 年度
成果	① 企画展示等開催期間中入館者数	人	38,500 (10,552)	38,000 (12,896)	35,000 (20,000)	25,000 R 7 年度
	② 報告書等作成件数	件	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 R 7 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	16,897	38,891	24,017	千円
人件費	18,617	20,444	19,581	千円
総計	35,514	59,335	43,598	千円

【財源内訳】一般財源 23,587千円 その他 430千円  
 【執行内訳】報酬 4,438千円 委託料 5,069千円  
 職員手当等 301千円 使用料及び  
 報償費 3,006千円 賃借料 1,596千円  
 旅費 309千円 備品購入費 600千円  
 需用費 4,555千円 負担金、補助及び  
 役務費 4,064千円 交付金 79千円

## 3 今後の方向性 (必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定  拡充  継続  縮小  休止・廃止

見直しの余地

社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

### 【今後の取組等】

展示:企画展示・テーマ展示等を引き続き実施する。  
 教育普及:博学連携事業では教育指導課と連携を図りながら、充実した学習内容の提供に努める。  
 資料調査:古文書の読み解きを進めるとともに、収蔵資料の整理・活用を図る。  
 博物館法の改正に伴い、資料のデジタルアーカイブ化に向けての検討を行う。

# 施設改修事業(公民館)

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 中央公民館

/ 庶務係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3222

### 事業類型

ハード事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

建築基準法 消防法  
水道法 電気事業法  
朝霞市公民館設置及び  
管理条例

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

施設改修を実施することにより、市民は安全に、安心して、公民館を利用している。

### 事業内容【継続】

施設の維持管理のために、必要に応じて施設改修を行う。

### 実施状況

○ 計画以上に実施できた ● おおむね計画どおりに実施できた ○ 計画どおりに実施できなかった

#### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

設計業務委託は、「中央公民館エレベーター改修工事」、「東朝霞公民館空気調和設備改修工事」の2件を実施し、工事は、「内間木公民館空気調和設備改修工事」、「中央公民館他4館トイレ手洗い器自動水栓化工事」などを実施した。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 施設改修工事箇所	箇所	1 ( 3 )	0 ( 0 )	2 ( 4 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 施設指摘件数	件	0 ( 2 )	0 ( 2 )	0 ( 3 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	38,404	20,808	99,028	千円
人件費	17,841	1,136	2,217	千円
総計	56,245	21,944	101,245	千円

【財源内訳】一般財源99,028千円  
【執行内訳】委託料6,832千円、工事請負費92,196千円

## 3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

### 総合判定

○ 拡充 ● 継続 ○ 縮小 ○ 休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

### 【今後の取組等】

引き続き公民館利用者の安全、安心、快適性を確保するため、事業を継続する。また、施設等の保全に関する取組を計画的に進め、今後も適切な保全を実施していくため、保全に関する情報の収集と関連部署との連携に努める。

# 西朝霞公民館管理事業

部名/課名/係名 生涯学習部 / 中央公民館 / 西朝霞公民館

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3222

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業
- 委託等
- 連携・協働
- 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務
- 義務と任意
- 任意

### 主な根拠法令等

建築基準法 消防法  
水道法 電気事業法  
朝霞市公民館設置及び  
管理条例 同条例施行  
規則

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

公民館は適切に維持管理され、市民は安全に安心して快適に利用している。

### 事業内容【継続】

施設の維持管理を実施する。(清掃、警備、設備保守点検、修繕等)

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

維持管理に係る清掃など11の業務を委託し実施した。施設や設備の修繕4件を実施した。職員による見回りや水質検査などの日常管理、並びに軽微な修繕や部品交換などを実施した。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 施設点検回数	回	12 ( 12 )	12 ( 12 )	12 ( 12 )	12 R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 開館日数	日	293 ( 201 )	291 ( 290 )	293 ( 290 )	293 R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	8,150	9,015	9,502	千円
人件費	2,639	2,639	5,542	千円
総計	10,789	11,654	15,044	千円

【財源内訳】一般財源 9,502千円  
【執行内訳】需用費4,426千円、委託料4,925千円、使用料及び賃借料151千円

## 3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

### 総合判定

拡充  継続  縮小  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
- 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
- サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
- 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
- 受益者負担のあり方について見直す余地がある
- その他 ( )

### 【今後の取組等】

老朽化が進んでいることから、適切な施設等の管理と保全を進め、誰もが快適に利用できる施設管理を行うとともに、維持管理等の情報収集や関連部署との連携に務める。

# 中央公民館管理事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 中央公民館

/ 庶務係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3222

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

建築基準法 消防法  
水道法 電気事業法  
朝霞市公民館設置及び  
管理条例

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

公民館は、適切に維持管理され、市民は安全に、安心して、快適に利用している。

### 事業内容【継続】

施設の維持管理を実施する。(清掃、警備、設備保守点検、修繕等)

### 実施状況

○ 計画以上に実施できた ● おおむね計画どおりに実施できた ○ 計画どおりに実施できなかった

#### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

維持管理に係る清掃など12の業務を委託し実施した。施設や設備の修繕10件を実施した。職員により見回りや水質検査などの日常管理、並びに軽微な修繕や部品交換などを実施した。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 施設点検回数	回	12 ( 12 )	12 ( 12 )	12 ( 12 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 開館日数	日	307 ( 255 )	307 ( 307 )	307 ( 307 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	23,087	23,829	29,772	千円
人件費	17,841	20,066	11,822	千円
総計	40,928	43,895	41,594	千円

【財源内訳】一般財源29,772千円  
 【執行内訳】需用費16,076千円、役務費91千円、委託料13,286千円、  
 使用料及び賃借料319千円

## 3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

### 総合判定

○ 拡充    ● 継続    ○ 縮小    ○ 休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

### 【今後の取組等】

老朽化も進んでいることから、適切な施設管理と施設等の保全を進め、誰もが快適に利用できる施設管理に努める。適切な施設等の保全を実施していくため、情報の収集と関連部署との連携に努める。



# 東朝霞公民館管理事業

部名/課名/係名 生涯学習部 / 中央公民館 / 東朝霞公民館

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3222

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

建築基準法 消防法  
水道法 電気事業法  
朝霞市公民館設置及び  
管理条例

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

公民館は、適切に維持され、市民は安全に安心して快適に利用している。

### 事業内容【継続】

施設の維持管理を実施する。(清掃、警備、設備保守点検、修繕等)

### 実施状況

○ 計画以上に実施できた ● おおむね計画どおりに実施できた ○ 計画どおりに実施できなかった

#### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

維持管理に係る清掃など10の業務を委託し実施した。施設や設備の修繕4件を実施した。職員による見回りや水質検査などの日常管理、並びに軽微な修繕や部品交換などを実施した。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 施設点検回数	回	12 ( 12 )	12 ( 12 )	12 ( 12 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 開館日数	日	293 ( 244 )	292 ( 290 )	292 ( 290 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	8,583	9,424	10,619	千円
人件費	4,266	6,815	6,650	千円
総計	12,849	16,239	17,269	千円

【財源内訳】一般財源10,619千円  
【執行内訳】需用費5,726千円、役務費62円、委託料4,700千円、使用料及び賃借料131千円

## 3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

### 総合判定

○ 拡充 ● 継続 ○ 縮小 ○ 休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

### 【今後の取組等】

適切な施設管理と施設等の保全を進め、誰もが快適に利用できる施設管理に努める。適切な施設等の保全を実施していくため、情報の収集と関連部署との連携に努める。

# 内間木公民館管理事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 中央公民館

/ 内間木公民館

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3222

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

建築基準法 消防法 水道法 電気事業法 朝霞市公民館設置及び管理条例

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

公民館は、適切に維持管理され、市民は安全に安心して快適に利用している。

### 事業内容 【継続】

施設の維持管理を実施する。(清掃、警備、設備保守点検、修繕等)

### 実施状況

計画以上に実施できた
  おおむね計画どおりに実施できた
  計画どおりに実施できなかった

#### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

維持管理に係る清掃など12の業務を委託し実施した。施設や設備の修繕を7件実施した。職員による見回りや水質検査などの日常管理、並びに軽微な修繕や部品交換などを実施した。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 施設点検回数	回	12 ( 12 )	12 ( 12 )	12 ( 12 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 開館日数	日	293 ( 240 )	293 ( 291 )	293 ( 210 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	10,026	9,814	10,164	千円
人件費	8,533	6,436	6,281	千円
総計	18,559	16,250	16,445	千円

【財源内訳】 一般財源 10,164千円  
 【執行内訳】 需用費 3,025千円 委託料 6,034千円  
 使用料及び賃借料 1,105千円

## 3 今後の方向性 (必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定  拡充  継続  縮小  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

### 【今後の取組等】

適切な施設管理と施設等の保全を進め、誰もが快適に利用できる施設管理に努める。適切な施設等の保全を実施していくため、情報の収集と関連部署との連携に努める。

# 南朝霞公民館管理事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 中央公民館

/ 南朝霞公民館

## 1 基本分類

総合計画コード

3222

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

主な根拠法令等

建築基準法 消防法 水道法 電気事業法 朝霞市公民館設置及び管理条例

## 2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

公民館は適切に維持管理され、市民は安全に安心して、快適に利用している。

事業内容 【継続】

施設の維持管理を実施する。(清掃、警備、設備保守点検、修繕等)

実施状況

計画以上に実施できた
  おおむね計画どおりに実施できた
  計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

維持管理に係る清掃など12の業務を委託し実施した。施設や設備の修繕4件を実施した。職員による見回りや水質検査などの日常管理、並びに軽微な修繕や部品交換などを実施した。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 施設点検回数	回	12 ( 12 )	12 ( 12 )	12 ( 12 )	R 12 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 開館日数	日	292 ( 244 )	293 ( 293 )	292 ( 292 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	11,713	9,943	10,165	千円
人件費	6,206	6,815	5,911	千円
総計	17,919	16,758	16,076	千円

【財源内訳】一般財源 10,165千円  
 【執行内訳】需用費 4,597千円  
 委託料 5,458千円  
 使用料及び賃借料 110千円

## 3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

拡充
  継続
  縮小
  休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

【今後の取組等】

適切な施設管理と施設等の保全を進め、誰もが快適に利用できる施設管理に努める。適切な施設等の保全を実施していくため、情報の収集と関連部署との連携に努める。

# 北朝霞公民館管理事業

部名/課名/係名

生涯学習部

／中央公民館

／北朝霞公民館

## 1 基本分類

総合計画コード

3222

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

主な根拠法令等

建築基準法 消防法 水道法 電気事業法 朝霞市公民館設置及び管理条例

## 2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

公民館は、適切に維持管理され、市民は安全に安心して、快適に利用している。

事業内容 【継続】

施設の維持管理を実施する。(清掃、警備、設備保守点検、修繕等)

実施状況

計画以上に実施できた 
  おおむね計画どおりに実施できた 
  計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

【委託管理】(11業務)機械警備、夜間管理、自動ドア保守、消防設備保守、空調設備保守、電気保安管理、日常清掃、定期清掃、植木剪定、建築物・建築設備定期検査、受水槽維持管理  
 【日常管理】職員による日常点検(見回り、消防防災、簡易水道設備)、管理品目の借上(3品目)  
 【その他】建物、設備修繕等の実施、職員による軽微な修繕、部品交換等

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 施設点検回数	回	12 ( 12 )	12 ( 12 )	12 ( 12 )	R 8 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 開館日数	日	293 ( 246 )	293 ( 291 )	293 ( 292 )	R 8 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	7,768	8,317	12,324	千円
人件費	4,654	4,543	5,172	千円
総計	12,422	12,860	17,496	千円

【財源内訳】一般財源 11,335千円  
 国庫支出金 989千円  
 【執行内訳】需用費 3,339千円  
 委託料 8,874千円  
 使用料及び賃借料 111千円

## 3 今後の方向性 (必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

拡充 
  継続 
  縮小 
  休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

【今後の取組等】

- ・市民が安心して、快適に利用できるよう、施設の保守点検と修繕に努める。  
 ・朝霞市公共施設等マネジメント実施計画に基づき、施設の長寿命化(耐震を考慮)を図る。



# 図書館管理事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 図書館

/ 庶務係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3222

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

生涯学習事業の拠点として、図書館来館者が安全で快適に本に親しみ、また、学習することができる。

### 事業内容【継続】

図書館施設維持管理に係る警備業務、自動ドア保守、エレベーター保守、消防設備保守点検、空調設備保守点検、電気保安管理、清掃業務、植木剪定、建築物・建築設備定期検査、中央監視盤保守点検の各種契約事務、履行監理。また、電話機、消臭器、防犯カメラ、AEDの借上業務や土地賃貸借契約業務、施設等の点検、修繕の実施。

### 実施状況

○ 計画以上に実施できた ● おおむね計画どおりに実施できた ○ 計画どおりに実施できなかった

#### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

管理委託業務、契約事務を実施し、施設・設備点検のうえ、修繕を要するものについては、随時修繕を行った。その他、駐車場土地借り上げの事務等を行った。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 施設点検回数	回	12 ( 12 )	12 ( 12 )	12 ( 12 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 開館日数	日	326 ( 280 )	326 ( 290 )	326 ( 324 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	26,552	22,936	24,679	千円
人件費	9,308	7,572	11,822	千円
総計	35,860	30,508	36,501	千円

【財源内訳】一般財源24,679千円  
 【執行内訳】需用費12,705千円、役務費123千円、委託料8,250千円、使用料及び賃借料3,601千円

## 3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

### 総合判定

○ 拡充 ● 継続 ○ 縮小 ○ 休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

### 【今後の取組等】

施設設備点検について、定期的実施し、異常箇所は随時修繕を行う。また、維持管理に係る委託契約及び履行監理を行っていくことで、引き続き利用者が安全で安心して読書に親しみ、学習することができる環境に努めていく。

# 図書館北朝霞分館管理事業

部名/課名/係名 生涯学習部 / 図書館 / 北朝霞分館

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3222

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業
- 委託等
- 連携・協働
- 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務
- 義務と任意
- 任意

### 主な根拠法令等

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

生涯学習の拠点として、図書館北朝霞分館来館者が安全で快適に本に親しみ、また、学習することができる。

### 事業内容【継続】

図書館施設・設備の定期点検(月1回)  
 照明器具の交換  
 防犯カメラの借上と運用  
 防災避難訓練の実施(年2回、産業文化センターと合同実施)

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

月1回、施設及び設備の定期点検を実施し、不具合箇所の修繕を行った。また、防犯カメラを運用するなど、安心して安全な施設の提供に努めた。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 施設点検日数	日	12 ( 12 )	12 ( 12 )	12 ( 12 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 開館日数	日	326 ( 280 )	326 ( 318 )	326 ( 325 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	350	317	123	千円
人件費	2,715	2,650	2,586	千円
総計	3,065	2,967	2,709	千円

【財源内訳】一般財源123千円  
 【執行内訳】需用費53千円、使用料及び賃借料70千円

## 3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定  拡充  継続  縮小  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
- 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
- サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
- 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
- 受益者負担のあり方について見直す余地がある
- その他 ( )

### 【今後の取組等】

定期点検等を通じて、施設や設備の適切な維持管理を行い、誰もが快適に本に親しみ、学習することができる読書環境の確保に努める。

# 博物館管理事業

部名/課名/係名 生涯学習部 / 文化財課 / 博物館

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3222

### 事業類型

ハード事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

博物館法 朝霞市博物館条例及び管理規則  
 建築基準法 高圧ガス保安法 建築物における衛生的環境の確保に関する法律(通称:ビル衛生管理法)

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

博物館が生涯学習の場として適切に維持管理され、市民は安心・安全に博物館を利用している。

### 事業内容 【継続】

施設の維持管理を実施する。(清掃、警備、設備保守点検、修繕等)

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

#### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じ、来館者の安全を図って開館することで、概ね活動指標に達した。成果指標については達成することはできなかったが、新型コロナウイルス感染拡大前の状況に回復しつつある。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 開館日数	日	289 (242)	289 (288)	289 (285)	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 入館者数(全国歴史系公立博物館平均入館者数)	人	36,785 (16,107)	39,633 (31,351)	35,000 (25,000)	35,000 R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	27,424	27,796	25,386	千円
人件費	17,453	15,901	15,517	千円
総計	44,877	43,697	40,903	千円

**【財源内訳】** 一般財源 25,360千円  
 その他(財産収入・諸収入) 26千円  
**【執行内訳】** 需要費 5,030千円  
 役務費 98千円  
 委託料 13,057千円  
 使用料及び賃借料 7,201千円

## 3 今後の方向性 (必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定  拡充  継続  縮小  休止・廃止

見直しの余地

社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

### 【今後の取組等】

各設備の保守点検を行い、修繕を必要とする場合には早急に対応し、来館者の安全と収蔵資料の保存環境の維持に努める。

# 施設改修事業(博物館)

部名/課名/係名

生涯学習部

／文化財課

／博物館

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3222

### 事業類型

ハード事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

博物館法 朝霞市博物館条例及び管理規則  
 建築基準法 高圧ガス保安法 建築物における衛生的環境の確保に関する法律(通称:ビル衛生管理法) エレベーターの安全確保の徹底について(H28.9月1日国住33号)

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

博物館の施設改修を実施することにより、市民は安心・安全に博物館を利用している。

### 事業内容【継続】

施設の維持管理のために、計画的に施設改修を行う。

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

#### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

令和2年度施設点検結果により改修必要性Cランクに位置付けられた施設について、令和4年度から6年度の3か年で改修を計画している。(4年度:調査、5年度:設計委託、6年度:改修工事) 令和4年度については8月に外壁等劣化状況調査を実施し、施設の詳細な状況を把握することができた。また、荷物運搬用エレベーターについても改修工事を実施した。

指標名		単位	R2年度目標(実績)	R3年度目標(実績)	R4年度目標(見込み)	最終目標(目標年度)
活動	① 施設改修調査箇所	箇所	-	-	1	0
			( - )	( - )	( 1 )	R 7 年度
成果	② 施設改修設計箇所	箇所	-	-	0	0
			( - )	( - )	( 0 )	R 7 年度
成果	① 施設改修工事箇所	箇所	-	-	1	0
			( - )	( - )	( 1 )	R 7 年度
成果	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	-	-	35,965	千円
人件費	-	-	3,695	千円
総計	-	-	39,660	千円

【財源内訳】一般財源 35,965千円  
 【執行内訳】委託料 3,815千円  
 工事請負費 32,150千円

## 3 今後の方向性 (必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

### 総合判定

拡充  継続  縮小  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

### 【今後の取組等】

外壁等劣化状況調査の結果を基に、改修工事の設計及び改修工事を実施する。



# スポーツ振興事業

部名/課名/係名 生涯学習部 / 生涯学習・スポーツ課 / スポーツ係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3311,3312,3313,3314

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

スポーツ基本法 朝霞市スポーツ推進審議会に関する条例 朝霞市立小中学校体育施設開放に関する規則 朝霞市スポーツ推進委員に関する規則

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

スポーツ環境やスポーツの現状と課題を踏まえながら事業を展開することによって、誰でもいつでもどこでも楽しめる生涯スポーツ社会の実現が図られている。

### 事業内容【継続】

スポーツ振興に関する調査、朝霞市スポーツ推進審議会及び朝霞市スポーツ推進委員会議の開催、学校体育施設開放事業、スポーツ教室やスポーツ大会等の開催、チラシやホームページを活用しスポーツに関する情報発信業務、事務等を行う。

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

スポーツ推進審議会会議の開催 2回 スポーツ推進委員会議の開催 4回  
 広報紙への掲載 毎月 ホームページへの掲載随時  
 学校開放事業(校庭及び体育館)の実施 小学校10校 中学校5校  
 各種スポーツ大会、教室の開催(令和4年度は、荒天によりロードレース大会が中止) その他個別事業の補助的業務  
 オリピックレガシー事業及び都市間交流事業の実施

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① スポーツ推進審議会開催回数	回	3 ( 3 )	2 ( 2 )	2 ( 2 )	R 7 年度
	② スポーツ教室・大会の開催回数	回	8 ( 0 )	8 ( 5 )	8 ( 8 )	R 7 年度
成果	① 審議会における委員からのスポーツ行政に関する意見	件	26 ( 12 )	20 ( 6 )	20 ( 5 )	R 7 年度
	② スポーツ教室・大会参加者数	人	1,380 ( 0 )	1,380 ( 343 )	1,380 ( 1,335 )	R 7 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	6,663	7,196	8,344	千円
人件費	19,315	18,551	9,975	千円
総計	25,978	25,747	18,319	千円

【財源内訳】一般財源 6,568千円、その他(市主催事業参加者負担金、広告事業収入) 1,776千円  
 【執行内訳】報酬 4,705千円、職員手当等 760千円、報償費 349千円、旅費 390千円、需用費 1,276千円、役務費 156千円、委託料 216千円、使用料及び賃借料 450千円、負担金、補助及び交付金 42千円

## 3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定  拡充  継続  縮小  休止・廃止

見直しの余地

社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

### 【今後の取組等】

スポーツの推進に関する事務については、アンケート調査などを活用し、関係機関と調整を図りながら実施に向けた準備を進めた。今後においても限られた予算で効果が得られるよう実施していく。

また、本市の現状と課題を分析し、スポーツ実施率が上がるようスポーツ推進を図っていく。オリンピック・パラリンピックに関連する事業のうち、可能な事業について、今後も引き続き、レガシーとして継続していく。

# スポーツ団体等補助事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 生涯学習・スポーツ課

/ スポーツ係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3314,3311,3312,  
3313

### 事業類型

ハード事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

朝霞市民総合体育大会  
 開催要綱 市民体育祭  
 実施要領 朝霞市体育  
 協会補助金交付要綱朝  
 霞市民総合体育大会実  
 行委員会補助金交付要  
 綱 朝霞市市民体育振  
 興奨励補助金交付要綱  
 朝霞市青少年スポーツ  
 振興補助金交付要綱

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

補助金及び奨励金を交付することによりスポーツの振興及び普及が図られ、団体等の活動も活発となっている。

### 事業内容【継続】

朝霞市体育協会補助金交付事業  
 朝霞市市民総合体育大会補助金交付事業  
 朝霞市青少年スポーツ振興補助金交付事業  
 朝霞市市民体育振興奨励補助金交付事業

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

・市民総合体育大会市民体育祭 10月9日(日)に開催  
 ・市民総合体育大会種目別大会の開催(朝霞市体育協会加盟団体26団体 14種目実施(R5.2月末現在))  
 ・朝霞市市民体育振興奨励補助金の交付 ・朝霞市青少年スポーツ振興補助金の交付  
 ※市民総合体育大会については、コロナ禍であったことから、希望団体に対しては感染症対策用品を配布するなどして大会開催を支援したが、各競技団体等の判断により開催が見送られたものも多く、目標とした参加者数を下回った。一方で、市民体育祭を4年ぶりに開催できたため、事業の進捗については、概ね計画どおり実施できたものと判断した。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 市民体育祭参加地区数	地区	20 ( 0 )	15 ( 0 )	15 ( 5 )	15 R 7 年度
	② 種目別大会	種目	32 ( 9 )	30 ( 14 )	30 ( 15 )	30 R 7 年度
成果	① 市民体育祭参加者数	人	10,000 ( 0 )	9,000 ( 0 )	9,000 ( 3,000 )	9,000 R 7 年度
	② 種目別大会参加者数	人	12,500 ( 3,883 )	11,000 ( 2,517 )	11,000 ( 3,600 )	11,000 R 7 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	5,051	8,894	6,470	千円
人件費	13,109	11,358	4,655	千円
総計	18,160	20,252	11,125	千円

【財源内訳】 一般財源 6,470千円  
 【執行内訳】  
 朝霞市体育協会補助金 3,470千円  
 朝霞市市民総合体育大会補助金 1,500千円  
 朝霞市市民体育振興奨励補助金 1,200千円  
 朝霞市青少年スポーツ振興補助金 300千円

## 3 今後の方向性 (必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定  拡充  継続  縮小  休止・廃止

- 見直しの余地
- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

### 【今後の取組等】

各団体の運営に大きな役割を担っている補助金ではあるが、限られた財源を有効的に活用するために、朝霞市体育協会、市民総合体育大会実行委員会などと協議を重ね、補助額等について検討していく必要がある。

# 公園体育施設改修事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 生涯学習・スポーツ課

/ スポーツ係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3321

### 事業類型

ハード事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

朝霞市体育施設設置及び管理条例 朝霞市体育施設設置及び管理条例施行規則

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

施設改修を実施することにより、利用者が安心して安全に利用することができる。

### 事業内容【継続】

公園体育施設(11施設)の維持管理のために、必要に応じて施設改修を行う。

### 実施状況

○ 計画以上に実施できた ● おおむね計画どおりに実施できた ○ 計画どおりに実施できなかった

#### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

朝霞中央公園野球場屋外階段防水等改修工事を実施した。  
 なお、朝霞中央公園野球場防球ネット増設工事については、設置予定場所の状況により、工事完了に至らなかった。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 改修工事箇所数	箇所	10 ( 1 )	0 ( 0 )	3 ( 1 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 施設指摘件数	件	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 1 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	4,125	0	20,933	千円
人件費	388	151	1,626	千円
総計	4,513	151	22,559	千円

【財源内訳】一般財源 20,933千円  
 【執行内訳】工事請負費 20,933千円

## 3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

### 総合判定

○ 拡充 ● 継続 ○ 縮小 ○ 休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

### 【今後の取組等】

施設の老朽化に対応するため、指定管理者と連携を図りながら、実施計画に基づき施設の改修・修繕に取り組んでいく。  
 公園体育施設全体で老朽化が進んでいることから、今後、必要とされる修繕工事、改修工事等を実施計画に位置づけ、計画的に施設の修繕・改修等を実施していく。

# 溝沼子どもプール施設改修事業

部名/課名/係名 生涯学習部 / 生涯学習・スポーツ課 / スポーツ係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3321

### 事業類型

ハード事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

溝沼子どもプール設置及び管理条例 溝沼子どもプール設置及び管理条例施行規則

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

施設改修を実施することにより、利用者が安心して安全に利用することができる。

### 事業内容【継続】

溝沼子どもプールの維持管理のために、必要に応じて施設改修を行う。

### 実施状況

○ 計画以上に実施できた ● おおむね計画どおりに実施できた ○ 計画どおりに実施できなかった

#### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

第2機械室ろ過器ポンプモーター取替工事を実施した。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 改修工事箇所数	箇所	1 ( 1 )	0 ( 0 )	1 ( 1 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 施設指摘件数	件	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	1,501	0	2,035	千円
人件費	1,396	1,363	1,995	千円
総計	2,897	1,363	4,030	千円

【財源内訳】一般財源 2,035千円  
 【執行内訳】工事請負費 2,035千円

## 3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

### 総合判定

○ 拡充 ● 継続 ○ 縮小 ○ 休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

### 【今後の取組等】

施設の老朽化に対応するため、委託業務の請負業者と連携を図りながら、実施計画に基づき施設の改修・修繕に取り組んでいく。

今後も実施計画に位置づけ、大型コースター改修工事、プール底盤舗装改修工事などを計画的に進めていく。



# 総合体育館施設改修事業

部名/課名/係名 生涯学習部 / 生涯学習・スポーツ課 / スポーツ係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3321

### 事業類型

ハード事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

朝霞市体育施設設置及び管理条例 朝霞市体育施設設置及び管理条例施行規則

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

施設改修を実施することにより、利用者が安心して安全に利用することができる。

### 事業内容【継続】

総合体育館の維持管理のため、必要に応じて施設改修を行う。

### 実施状況

計画以上に実施できた 
  おおむね計画どおりに実施できた 
  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

R4年度は改修工事は実施していないが、施設点検を指定管理者とともに実施し、施設の状態の把握に努めるとともに、必要な調整等を行った。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 改修工事箇所数	箇所	1 ( 1 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 施設指摘件数	件	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	566,030	0	0	千円
人件費	1,241	303	148	千円
総計	567,271	303	148	千円

【財源内訳】一般財源 0千円  
 【執行内訳】執行額 0千円

## 3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

### 総合判定

拡充 
  継続 
  縮小 
  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

### 【今後の取組等】

今後も、施設の状態等を常に把握しながら管理を行い、適宜、必要に応じた修繕等を実施していく。

# 滝の根テニスコート施設改修事業

部名/課名/係名 生涯学習部 / 生涯学習・スポーツ課 / スポーツ係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3321

### 事業類型

ハード事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

朝霞市体育施設設置及び管理条例 朝霞市体育施設設置及び管理条例施行規則

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

施設改修を実施することにより、利用者が安心して安全に利用することができる。

### 事業内容【継続】

滝の根テニスコートの維持管理のために、必要に応じて施設改修を行う。

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

改修工事及び計画を検討するために職員による施設巡回点検を行った。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 改修工事箇所数	箇所	1 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 施設指摘件数	件	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	0	0	0	千円
人件費	155	151	148	千円
総計	155	151	148	千円

【財源内訳】一般財源 0千円  
【執行内訳】執行額 0千円

## 3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

### 総合判定

拡充  継続  縮小  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

### 【今後の取組等】

施設の老朽化に対応するため、指定管理者と連携を図りながら、実施計画等に基づき施設の改修・修繕に計画的に取り組んでいく。  
毎年定期的にコート整備を行うとともに、今後、コートの改修等について実施計画に位置づけ、大規模改修や修繕などを計画的に進めていく。

# 武道館施設改修事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 生涯学習・スポーツ課

/ スポーツ係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3321

### 事業類型

ハード事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

朝霞市体育施設設置及び管理条例 朝霞市体育施設設置及び管理条例施行規則

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

施設改修を実施することにより、利用者が安心して安全に利用することができる。

### 事業内容【継続】

武道館の維持管理のために、必要に応じて施設改修を行う。

### 実施状況

○ 計画以上に実施できた ● おおむね計画どおりに実施できた ○ 計画どおりに実施できなかった

#### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

改修工事に当たっての設計を業務委託により行い、関係部署との協議等により改修内容等を検討した。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 改修工事箇所数	箇所	1 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 施設指摘件数	件	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	0	0	0	千円
人件費	388	3,332	6,428	千円
総計	388	3,332	6,428	千円

【財源内訳】一般財源 0千円  
 【執行内訳】委託料 0千円  
 ※設計業務委託料として30,085千円を当初予算で措置していたが、業務の終期が令和5年度中となったことから、予算額の全額を令和5年度予算に繰り越したため、令和4年度中の執行額はない。

## 3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

### 総合判定

○ 拡充 ● 継続 ○ 縮小 ○ 休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

### 【今後の取組等】

耐震診断の結果、施設の中で一部耐震基準を満たしていない箇所があるため、耐震改修工事が必要であることから、令和4年度から行っている耐震改修工事の設計が完了し次第、施設の耐震化及び長寿命化対策工事を行う。

# 公園体育施設管理運営事業

部名/課名/係名 生涯学習部 / 生涯学習・スポーツ課 / スポーツ係

## 1 基本分類

総合計画コード

3322

事業類型

ハード事業

実施形態

- 市単独事業
- 委託等
- 連携・協働
- 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
- 義務と任意
- 任意

主な根拠法令等

朝霞市体育施設設置及び管理条例 朝霞市体育施設設置及び管理条例施行規則

## 2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

生涯スポーツ及びレクリエーションを推進する公園体育施設(11施設)及び民間施設を利用することにより、市民の健康と体力が向上している。

事業内容 【継続】

公園体育施設(11施設)の適切な維持管理、運営

実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

市民スポーツ推進のため、公園体育施設(11施設)の適切な維持管理・運営を行った。

【各施設の開場日数(R5年1月末現在)】

朝霞中央公園野球場245日 朝霞中央公園陸上競技場302日 青葉台公園テニスコート・芝生広場302日 北朝霞公園野球場302日 弁財公園テニスコート302日 内間木公園テニスコート・弓道場302日 内間木公園ソフトボール場274日 上野荒川運動公園野球場・サッカー場 302日

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 施設運営箇所数(公共施設)	箇所	11 ( 11 )	11 ( 11 )	11 ( 11 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 公園体育施設利用者数	人	415,000 ( 351,583 )	415,000 ( 424,104 )	415,000 ( 600,000 )	415,000 R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	81,797	79,473	85,988	千円
人件費	465	454	296	千円
総計	82,262	79,927	86,284	千円

【財源内訳】 一般財源 54,568千円  
施設使用料 31,420千円  
【執行内訳】 役務費 70千円  
委託料 85,918千円

## 3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

拡充  継続  縮小  休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
- 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
- サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
- 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
- 受益者負担のあり方について見直す余地がある
- その他 ( )

【今後の取組等】

指定管理者と連携を図り、誰もが利用しやすい施設運営を目指し、市民の視点に立った良好な施設運営を進めていく必要がある。また、利用率の低い施設については利用喚起のため、関係団体と協議するとともに、PR活動等を行っていく。

なお、今後は、各施設の運営、維持管理コストが高額化傾向にあることを踏まえ、無料個人開放事業の有料化など、使用料について受益者負担のあり方を基に見直す余地がある。

なお、団体貸し出しの使用料についても、全庁的に使用料及び手数料などを見直す際には、他市の状況等も踏まえて検討する必要がある。



# 溝沼子どもプール管理運営事業

部名/課名/係名 生涯学習部 / 生涯学習・スポーツ課 / スポーツ係

## 1 基本分類

総合計画コード

3322

事業類型

ハード事業

実施形態

- 市単独事業
- 委託等
- 連携・協働
- 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務
- 義務と任意
- 任意

主な根拠法令等

溝沼子どもプール設置及び管理条例 溝沼子どもプール設置及び管理条例施行規則

## 2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

溝沼子どもプール施設を利用することにより、幼児・児童の心身の健康が向上している。

事業内容 【継続】

溝沼子どもプールの開場に伴う、施設の適切な維持管理、運営  
開場期間:7月の第2土曜日から9月の第1日曜日まで

実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

- ・施設管理委託、ろ過機維持管理業務委託などの業務委託を活用し、施設の管理運営を行った。
- ・開場日数 58日（7月9日から9月4日まで）（新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、会場内が密にならないよう、1日2部制とし、市内在住の方を対象として、各回の定員を200人として開場した。）

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 開場日数	日	58 ( 0 )	58 ( 58 )	58 ( 57 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 入場者数	人	32,000 ( 0 )	32,000 ( 5,913 )	32,000 ( 12,150 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	13,342	35,691	37,460	千円
人件費	1,551	1,514	2,069	千円
総計	14,893	37,205	39,529	千円

【財源内訳】一般財源 34,073千円  
施設使用料 3,324千円  
その他(自販機) 63千円  
【執行内訳】需用費 7,300千円 役務費 73千円  
委託料 27,000千円  
使用料及び賃借料 3,087千円

## 3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

拡充  継続  縮小  休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
- 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
- サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
- 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
- 受益者負担のあり方について見直す余地がある
- その他 ( )

【今後の取組等】

施設の老朽化が進んでいることもあり、機能的な劣化も見られることから、今後、大規模な改修・修繕を検討していく必要がある。引き続き市及び運営委託業者による点検を継続し、安心・安全な施設管理を行っていく。また、施設使用料については、全庁的な見直しの機会を捉え、他市の状況も踏まえた検討を行う必要がある。

# 総合体育館管理運営事業

部名/課名/係名 生涯学習部 / 生涯学習・スポーツ課 / スポーツ係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3322

### 事業類型

ハード事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

朝霞市体育施設設置及び管理条例 朝霞市体育施設設置及び管理条例施行規則

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

生涯スポーツ及びレクリエーションを推進する総合体育館を利用することにより、市民の健康と体力が向上している。

### 事業内容【継続】

総合体育館の適切な維持管理、運営

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

#### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

市民スポーツ推進のため、指定管理により総合体育館の適切な維持管理・運営を行った。指定管理者においては、専門的知見を活かした効率的な施設の管理運営、自主事業が展開され、概ね計画通りの維持管理・運営ができた。開場日数 292日〔R5年1月末現在〕、開場時間 午前9時から午後9時30分まで

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 施設開館日数	日	270 ( 230 )	361 ( 98 )	361 ( 361 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 利用者数	人	165,000 ( 101,347 )	220,000 ( 42,696 )	220,000 ( 256,000 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	50,342	53,213	59,019	千円
人件費	465	454	3,177	千円
総計	50,807	53,667	62,196	千円

【財源内訳】 一般財源 33,327千円  
 使用料 21,718千円  
 その他(自販機) 3,974千円

【執行内訳】 役務費 198千円  
 委託料 58,821千円

## 3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定  拡充  継続  縮小  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

### 【今後の取組等】

指定管理者と連携を図りながら、誰もが利用しやすい施設を目指し、市民の視点に立った施設運営を進めていく必要がある。

今後も指定管理者と連携し、利用者の声などを聞くことなどにより、更に利用者が増加するよう努力する。

なお、令和3年度において、利用時間の区分や使用料などの受益者負担等について見直しを図り、令和4年度から使用料の改定を行った。

# 滝の根テニスコート管理運営事業

部名/課名/係名 生涯学習部 / 生涯学習・スポーツ課 / スポーツ係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3322

### 事業類型

ハード事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

朝霞市体育施設設置及び管理条例 朝霞市体育施設設置及び管理条例施行規則

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

生涯スポーツ及びレクリエーションを推進する滝の根テニスコートを利用することにより、市民の健康と体力が向上している。

### 事業内容【継続】

滝の根テニスコートの適切な維持管理、運営

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

市民スポーツ推進のため、滝の根テニスコートの適切な維持管理・運営を行った。指定管理者による専門的知見を踏まえた管理運営により、目標以上に多くの方々に利用いただくことができた。

開場日数 282日[R5年1月末現在]

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 施設開場日数	日	337 ( 281 )	337 ( 337 )	337 ( 337 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 利用者数	人	34,500 ( 22,302 )	22,000 ( 22,561 )	22,000 ( 26,000 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	18,588	18,686	17,928	千円
人件費	465	379	148	千円
総計	19,053	19,065	18,076	千円

【財源内訳】 一般財源 17,279千円  
 施設使用料 597千円  
 その他(自販機) 52千円

【執行内訳】 役務費 1千円  
 委託料 7,019千円  
 使用料及び賃借料 10,908千円

## 3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

### 総合判定

拡充  継続  縮小  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

### 【今後の取組等】

指定管理者と連携を図りながら、誰もが利用しやすい施設を目指し、市民の視点に立った施設運営を進めていく必要があり、P R 活動に努めるとともに、更なる利用率の向上に努める。

費用対効果の点では課題もあるが、利用率も高いことや市民サービスを考えると今後も継続していく必要があると考える。

なお、使用料については、全庁的な見直し等の機会を捉え、他市の状況も踏まえ検討する必要がある。

# 武道館管理運営事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 生涯学習・スポーツ課

/ スポーツ係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3322

### 事業類型

ハード事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

朝霞市体育施設設置及び管理条例 朝霞市体育施設設置及び管理条例施行規則

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

生涯スポーツ及びレクリエーションを推進する武道館を利用することにより、市民の健康と体力が向上している。

### 事業内容【継続】

武道館の適切な維持管理、運営

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

市民スポーツ推進のため、武道館の適切な維持管理・運営を行った。開場日数 292日(R5年1月末現在)指定管理により施設を良好な状態に維持管理でき、目標人数を上回る多くの方にご利用いただくことができました。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 施設開館日数	日	361 ( 290 )	349 ( 348 )	349 ( 349 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 利用者数	人	29,000 ( 20,247 )	28,500 ( 31,898 )	29,000 ( 31,000 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	11,240	9,707	10,127	千円
人件費	465	379	369	千円
総計	11,705	10,086	10,496	千円

【財源内訳】一般財源 8,399千円  
 施設使用料 1,547千円  
 その他(自販機) 181千円  
 【執行内訳】役務費 4千円  
 委託料 10,123千円

## 3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

### 総合判定

拡充  継続  縮小  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

### 【今後の取組等】

指定管理者と連携を図りながら、誰もが利用しやすい施設を目指し、市民の視点に立った施設運営を進めていく必要がある。

今後も指定管理者と連携し、利用者の声などを聞き、更に利用者が増加するよう努力する。

施設の利用喚起に向けたPR等について、関係団体や指定管理者と協議していく。

また、使用料については、耐震改修工事完了後の供用再開に際し、使用料・手数料の見直し方針に則り、受益者負担の観点から見直しの検討を行う。



# 旧高橋家住宅管理運営事業

部名/課名/係名 生涯学習部 / 文化財課 / 文化財保護係

## 1 基本分類

総合計画コード

3411

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

主な根拠法令等

文化財保護法 埼玉県文化財保護条例 朝霞市文化財保護条例 重要文化財旧高橋家住宅設置及び管理条例

## 2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

重要文化財である旧高橋家住宅の保存及び活用を図ることで、郷土の歴史及び文化に対する市民の理解と関心が高まり、市民へ生涯学習の場が提供されている。

事業内容 【継続】

重要文化財旧高橋家住宅を活用したイベントや体験学習、ボランティア活動を実施すると共に、維持管理を行う。

実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

体験学習等活用事業について、新型コロナウイルス感染症対策のため一部中止したが、屋外での体験学習や写真展等を8回、年中行事展示を14回実施した。無人時の機械警備、放水銃等消防施設の保守点検、敷地内の除草、枯損木の伐採等、建造物及び敷地の維持管理を適切に行った。

指標名		単位	R2年度目標(実績)	R3年度目標(実績)	R4年度目標(見込み)	最終目標(目標年度)
活動	① 開園日数	日	301 (257)	301 (301)	301 (299)	R7年度
	② 体験学習等開催回数	回	20 (1)	20 (2)	20 (8)	R7年度
成果	① 来園者数	人	11,760 (8,855)	11,800 (10,114)	11,840 (9,600)	R7年度
	② 体験学習等参加者数	人	1,060 (659)	1,080 (42)	1,100 (1,044)	R7年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
				【財源内訳】一般財源 8,902千円
事業費	9,430	12,801	8,902	千円
人件費	6,206	7,193	5,542	千円
総計	15,636	19,994	14,444	千円
				【執行内訳】
				報酬 3,159千円 需用費 605千円
				職員手当等 271千円 役務費 135千円
				報償費 30千円 委託料 4,491千円
				旅費 165千円 使用料及び賃借料 46千円

## 3 今後の方向性 (必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定  拡充  継続  縮小  休止・廃止

- 見直しの余地
- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる
  - 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある
  - サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある
  - 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある
  - 受益者負担のあり方について見直す余地がある
  - その他 ( )

【今後の取組等】

市民の学習の場であるとともに、登録ボランティアの活動の場にもなっていることから、引き続きボランティアと協働して維持管理と活用を図る。  
 体験学習等活用事業については、感染症対策等国の動向を踏まえながら、内容や実施方法等を検討して実施する。  
 保存整備終了後10年を超え、経年劣化による傷みが見られ始めていることから、必要な補修等を適宜行い、「シティ・セールス朝霞ブランド」としてふさわしい状態を整えていく。

# 指定文化財等保護管理事業

部名/課名/係名 生涯学習部 / 文化財課 / 文化財保護係

## 1 基本分類

総合計画コード

3411

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

主な根拠法令等

文化財保護法 埼玉県文化財保護条例 朝霞市文化財保護条例 柵塚古墳歴史広場設置及び管理条例 湧水代官水管理要綱

## 2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

市内にある県・市指定文化財の適切な保護及び管理が行われている。

事業内容 【継続】

広沢の池の維持・管理を行う。  
 柵塚古墳歴史広場の維持・管理を行う。  
 二本松を管理する。  
 湧水代官水の維持・管理を行う。  
 その他の指定文化財の管理を行う。

実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

柵塚古墳歴史広場・湧水代官水の施設・清掃・管理等、広沢の池・二本松の保護・管理等を、委託のほか一部職員により行った。柵塚古墳歴史広場において、虫害による枯損樹木の伐採等を行い、市指定文化財の適切な管理を図った。定期的な巡回のほか、台風・降雪等の際に巡回点検を適宜行い、指定文化財の安全管理を図った。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 県・市指定文化財点検回数	回	12 ( 17 )	12 ( 23 )	12 ( 13 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 県・市指定文化財件数	件	34 ( 34 )	34 ( 34 )	34 ( 34 )	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
				【財源内訳】一般財源 8,407千円
事業費	8,895	8,663	8,407	千円
人件費	8,145	7,572	6,650	千円
総計	17,040	16,235	15,057	千円
				【執行内訳】
				需用費 928千円 委託料 5,136千円
				役務費 7千円 使用料及び賃借料 2,336千円

## 3 今後の方向性 (必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定  拡充  継続  縮小  休止・廃止

見直しの余地

社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

【今後の取組等】

指定文化財の新規指定の検討を進めるとともに、文化財の重要性についての周知を継続して行う。  
 指定文化財に関する情報を、広報誌やホームページ等の媒体を活用して積極的な提供を図る。  
 文化財指定地等の管理敷地における樹木への虫害等の発生について、巡回点検等により早期覚知を図るとともに適切に対応する。  
 歴史的建造物の保存について所有者との協議を継続して行う。

# 文化財保護普及事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/文化財課

/文化財保護係

## 1 基本分類

総合計画コード

3411

事業類型

ソフト事業

実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

主な根拠法令等

文化財保護法 埼玉県文化財保護条例 朝霞市文化財保護条例 朝霞市文化財保護関係団体補助金交付要綱

## 2 事業概要・実施結果

目指す目的成果

文化財が市民共有の財産であるという意識が啓発され醸成されている。

事業内容 【継続】

市内所在の文化財について調査・研究及び啓発・公開を行う。  
 市内文化財保護関係団体への補助金交付を行う。

実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

【説明】(実施内容及び進捗状況)

文化財保護審議委員会議を2回実施した。文化財関係団体3団体に補助金を交付した。朝霞市ホームページ等の電子媒体を活用して、文化財情報を掲載するなど、文化財に関する普及啓発活動を行った。

指標名		単位	R2年度目標(実績)	R3年度目標(実績)	R4年度目標(見込み)	最終目標(目標年度)
活動	① 文化財保護関係団体への補助金交付	件	3 ( 3 )	3 ( 3 )	3 ( 3 )	R 7 年度
	② 文化財保護審議委員会議の開催	回	2 ( 2 )	2 ( 2 )	2 ( 2 )	R 7 年度
成果	① 文化財保護関係団体の事業開催回数	回	5 ( 5 )	5 ( 0 )	5 ( 2 )	R 7 年度
	② 新規指定件数	件	1 ( 1 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	R 7 年度

総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	2,142	919	902	千円
人件費	6,593	6,436	5,911	千円
総計	8,735	7,355	6,813	千円

【財源内訳】一般財源 902千円

【執行内訳】

報酬	80千円	役務費	28千円
旅費	39千円	使用料及び賃借料	282千円
需用費	318千円	負担金、補助及び交付金	155千円

## 3 今後の方向性 (必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定

拡充  継続  縮小  休止・廃止

見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

【今後の取組等】

広報誌やホームページ等の各種媒体を活用して、文化財に関する情報発信を積極的に行い、普及啓発を図る。市内小学校での埋蔵文化財出土遺物展示の常設を進め、学校教材としての活用を図る。補助金交付団体の溝沼獅子舞保存会や根岸野謡保存会に対して、今後も補助金の交付を継続するとともに、無形文化財の保存のための支援を行う。

# 埋蔵文化財センター管理事業

部名/課名/係名

生涯学習部

／文化財課

／文化財保護係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3411

### 事業類型

ハード事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

朝霞市埋蔵文化財センター設置及び管理条例

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

埋蔵文化財保護のための埋蔵文化財センターが適切に維持管理され、整理作業が安全に行われている。

### 事業内容 【継続】

埋蔵文化財センターの管理・運営を行う。

### 実施状況

計画以上に実施できた
  おおむね計画どおりに実施できた
  計画どおりに実施できなかった

#### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

空調設備・消防設備等の保守点検、夜間・休所日の機械警備を業務委託し、埋蔵文化財センターの適切な管理を行った。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 開所日数	日	301 (248)	290 (292)	290 (290)	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 埋蔵文化財整理済遺跡数	件	2 (5)	2 (4)	2 (6)	R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
				【財源内訳】 一般財源 1,770千円
事業費	1,598	1,677	1,770	千円
人件費	6,206	6,058	7,020	千円
総計	7,804	7,735	8,790	千円
				【執行内訳】
				需用費 1,110千円 委託料 527千円
				役務費 87千円 使用料及び賃借料 46千円

## 3 今後の方向性 (必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

### 総合判定

拡充
  継続
  縮小
  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

### 【今後の取組等】

埋蔵文化財の保存・活用の拠点である埋蔵文化財センターを引き続き適切に維持・管理・運営していく。プレハブ建築であり、相当年数を経過していることから、不具合の発生時に適宜修繕を実施し、適切に維持・管理していく。見学者の増加につながるよう、引き続き展示コーナーの充実を図る。



# 埋蔵文化財調査保存事業

部名/課名/係名

生涯学習部

／文化財課

／文化財保護係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3411

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

文化財保護法 埼玉県  
文化財保護条例 朝霞  
市文化財保護条例

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

市内埋蔵文化財の歴史的価値・所在を市民が把握しており、文化財の報告書などが市民に公開されている。

### 事業内容【継続】

埋蔵文化財について調査及び保存を行う。  
埋蔵文化財の整理・保管・金属処理等を行うと共に、発掘調査報告書及び報告書刊行のための資料作成を実施する。

### 実施状況

計画以上に実施できた  おおむね計画どおりに実施できた  計画どおりに実施できなかった

#### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

埋蔵文化財の確認調査(試掘調査)、発掘調査、整理作業を実施した。  
報告書刊行のための資料作成、出土品の科学的保存処理を行った。  
整理作業及び資料作成の成果により、埋蔵文化財調査報告書を3冊刊行した。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 埋蔵文化財整理件数	件	2 (5)	3 (4)	3 (6)	R7年度
	② 埋蔵文化財調査件数	件	2 (9)	2 (13)	2 (9)	R7年度
成果	① 埋蔵文化財報告遺跡数	箇所	2 (5)	2 (4)	2 (6)	R7年度
	② 埋蔵文化財調査報告書作成件数	件	1 (2)	2 (2)	1 (3)	R7年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	19,436	19,495	24,254	千円
人件費	12,799	12,115	13,670	千円
総計	32,235	31,610	37,924	千円

【財源内訳】 一般財源 22,004千円  
国庫支出金 1,500千円  
県支出金 750千円

【執行内訳】  
報酬 7,253千円 役務費 36千円  
旅費 145千円 委託料 6,632千円  
需用費 488千円 使用料及び賃借料 9,700千円

## 3 今後の方向性

(必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

### 総合判定

拡充  継続  縮小  休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

### 【今後の取組等】

開発行為・建築工事等に伴う確認調査・発掘調査について、事業主と遺漏なく協議を行い、適切に実施していく。  
ホームページ等を活用して、発掘調査終了後に調査結果・内容等について情報発信し、普及啓発を促進する。  
区画整理事業等、大規模な土木工事に伴う試掘調査について、予算確保等計画的に行い、遺漏なく実施していく。

# 施設改修事業(旧高橋家)

部名/課名/係名 生涯学習部 / 文化財課 / 博物館

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3411

### 事業類型

ハード事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

文化財保護法 埼玉県文化財保護条例 朝霞市文化財保護条例 重要文化財旧高橋家住宅設置及び管理条例

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

重要文化財である旧高橋家住宅の主屋の茅葺屋根を差茅工法で修繕を行うことで屋根の寿命が延長され、安全性が高まることで、文化財の適切な保存と来園者への安全な環境での生涯学習の場が提供されている。

### 事業内容【継続】

主屋の茅葺屋根の傷みや茅の痩せた部分に差茅工法で茅を補充することで、雨漏りや雨漏りによる躯体損傷を防止し、重要文化財の適切な保存を図る。

令和4年度に保存工事を予定していたが、昨今の国内情勢を受け、工事資材及び人員の確保が難しくなり、年度内での工事完了が困難となったため、令和5年度に繰り越して実施する。

### 実施状況

○ 計画以上に実施できた ○ おおむね計画どおりに実施できた ● 計画どおりに実施できなかった

#### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

設計委託業者からの提案に基づく文化庁・県との協議の中で、差茅以外に現時点で補修が必要な箇所について検討・決定できたが、年度内完了が困難となったため、次年度に繰り越して実施する。

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 改修工事件数	件	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度
成果	① 事故件数	件	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 R 7 年度
	②		( )	( )	( )	R 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	—	—	0	千円
人件費	—	—	3,695	千円
総計	—	—	3,695	千円

【財源内訳】 一般財源 0千円  
国庫支出金 0千円

【執行内訳】 委託料 0千円 工事請負費 0千円

## 3 今後の方向性 (必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

総合判定 ○ 拡充 ● 継続 ○ 縮小 ○ 休止・廃止

- 見直しの余地
- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

### 【今後の取組等】

差茅等の補修を行うことで、旧高橋家住宅の長寿命化を図る。  
国庫補助事業として実施する予定であることから、文化庁・埼玉県との協議及び諸手続きについて遅滞なく行う。

# 芸術文化振興事業

部名/課名/係名

生涯学習部

/ 生涯学習・スポーツ課

/ 生涯学習係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3421,3422

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

朝霞市文化協会補助金交付要綱

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

文化協会会員をはじめ、文化芸術活動を行う市民や団体が活動の成果を発表し、共演、交流することで、市民の文化活動への機運が高まっている。また、若い世代が参加することによって、芸術・文化の継承に繋がっている。

### 事業内容【継続】

- ・文化事業を共催して実施する。
- ・文化協会に補助金を交付する。
- ・芸術文化展、文化祭、市民芸能まつり等を実施する。
- ・夏休み親子陶芸教室、手作り教室等を開催する。

### 実施状況

○ 計画以上に実施できた ● おおむね計画どおりに実施できた ○ 計画どおりに実施できなかった

#### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

芸術文化展の開催  
 夏休み親子陶芸教室の開催  
 朝霞市文化祭(芸能のつどい、各種個別発表会及び大会を含む)の開催  
 朝霞市文化協会への補助金の交付

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 朝霞市文化祭開催回数	回	1 ( 0 )	1 ( 1 )	1 ( 1 )	1 R 7 年度
	② 朝霞市芸術文化展開催回数	回	1 ( 0 )	1 ( 1 )	1 ( 1 )	1 R 7 年度
成果	① 朝霞市文化祭延べ参加者数	人	19,000 ( 0 )	12,490 ( 2,196 )	12,610 ( 8,030 )	12,850 R 7 年度
	② 朝霞市芸術文化展延べ参加者数	人	5,350 ( 0 )	4,380 ( 932 )	4,500 ( 2,000 )	4,740 R 7 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	984	1,201	1,926	千円
人件費	6,206	6,436	10,714	千円
総計	7,190	7,637	12,640	千円

【財源内訳】一般財源 1,925千円 その他(参加者負担金) 1千円  
 【執行内訳】報償費 100千円 役員費 1千円 負担金、補助及び交付金 1,825千円  
 合計 1,926千円

## 3 今後の方向性 (必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

### 総合判定

○ 拡充 ● 継続 ○ 縮小 ○ 休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

### 【今後の取組等】

令和4年度は、コロナ禍前の事業実施内容にほぼ戻すことができた。今後も芸術文化展や朝霞市文化祭などを開催し、市民の活動や成果を発表する場を創設するほか、開催に当たり市内の高校等や障害者施設等の協力を得ることで、地域を活性化させるとともに、障害等の有無に関わらず誰でも楽しめる場の提供に努めていく。

# 国際・都市間交流事業

部名/課名/係名

市民環境部

/ 地域づくり支援課

/ 地域づくり支援係

## 1 基本分類

### 総合計画コード

3433

### 事業類型

ソフト事業

### 実施形態

- 市単独事業  
 委託等  
 連携・協働  
 補助・助成

### 法令等の義務付け

- 義務  
 義務と任意  
 任意

### 主な根拠法令等

都市間交流事業実施要綱 朝霞市国際化基本指針

## 2 事業概要・実施結果

### 目指す目的成果

彩夏祭などの地域文化を市内外にPRすることにより、他地域との交流が図られ、まちが活性化していく。

### 事業内容【継続】

災害時相互応援協定締結市と交流する。  
国際交流団体と情報を共有する。  
協定締結先をPRするとともに市民向けに優待サービスを提供してもらう。  
都市間交流事業庁内連絡会議を開催する。

### 実施状況

○ 計画以上に実施できた ● おおむね計画どおりに実施できた ○ 計画どおりに実施できなかった

#### 【説明】(実施内容及び進捗状況)

- ・朝霞市民優待の実施(佐久市、東根市、西伊豆町/ホテル・旅館の宿泊料10%割引、瑞浪市/3館共通パスポート配布)
- ・市民ホール等に都市間交流コーナーを設置、各市のポスターの掲示やパンフレットを配布
- ・イベントの参加や特産品の販売、観光PRなどの参加調整
- ・都市間交流事業庁内連絡会議の開催

指標名		単位	R2年度目標 (実績)	R3年度目標 (実績)	R4年度目標 (見込み)	最終目標 (目標年度)
活動	① 災害時相互応援協定締結市相互交流回数	回	5 ( 29 )	36 ( 28 )	38 ( 41 )	39 R 7 年度
	② 彩夏祭、農業祭などにおける交流先都市のPR回数	回	3 ( 0 )	3 ( 1 )	3 ( 3 )	3 R 7 年度
成果	① 優待サービス提供件数	件	20 ( 53 )	30 ( 2 )	33 ( 0 )	39 R 7 年度
	② 優待サービス利用者数	人	100 ( 53 )	60 ( 2 )	70 ( 0 )	90 R 7 年度

### 総コスト(事業費+人件費)と事業費の内訳

	R2	R3	R4(見込み)	
事業費	37	7	268	千円
人件費	5,042	2,650	2,586	千円
総計	5,079	2,657	2,854	千円

【財源内訳】  
一般財源 268千円  
【執行内訳】  
旅費 189千円、需用費 79千円

## 3 今後の方向性 (必要性・有効性・効率性の観点から評価をしてください)

### 総合判定

○ 拡充 ● 継続 ○ 縮小 ○ 休止・廃止

### 見直しの余地

- 社会経済状況等の変化により、地域の課題や市民の需要に増減が見られる  
 民間委託や指定管理者制度、国や県の類似事業の活用、市民等との協働など、市の関与を見直す余地がある  
 サービスの対象、水準、内容について見直す余地がある  
 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を改善する余地がある  
 受益者負担のあり方について見直す余地がある  
 その他 ( )

### 【今後の取組等】

新型コロナの影響を踏まえながら、交流先自治体とイベント等の相互参加や交流先自治体の情報を積極的に市民に発信することで、交流の促進を図っていく。